



高村

智 議員



録画映像

質問1

教室へ感染や熱中症対策にエアコンを設置してはいいかがか

教育長

環境づくりができるの良いが財政的なことも考慮が必要

全国的に新型コロナウイルスがまん延し、北斗市内でも子どもから高齢者まで、たくさんの方が不安を抱えながら毎日を過ごしています。

特に子どもたちの学習場所である学校内が、気温上昇による熱中症対策などで教職員も苦勞していると聞いており、小・中学校は災害時には避難場所にもなっています。

今後のコロナや熱中症対策について、どのように考えているのか市長の考えをお聞かせください。

答(市長) 災害時における避難所としての新型コロナウイルス感染症対策や熱中症対策については、指定避難所の中でも学校施設の場合、実際に避難される方が使用するのには体育館が中心となりますので、広いスペースが確保されていますし、また、個室として使用可能な教室なども十分にあり、日ごろの学校運営で使用されている熱中症対策やコロナ対策用機材も活用可能だと思います。

問 冬期等の感染対策も考え、教室へ冷暖房の空気清浄機能付きエアコンの設置をする考えはないか。

答(教育長) 環境づくりができる良いが学校数も多く、財政的なことも考えなくてはなりませんので、今のところは換気による教室内の気温低下の際には1枚多く着てもらおうことなどで対応をしています。

質問2 給食費の軽減について当時と何が変わったのか

市長 市民の皆様や議会からの提案で最重要施策として捉えた

問 令和元年12月議会で給食費の軽減について質問をしました。

今年の市長選の公約で第二子以降給食費無料にするという話を聞いて、私が質問したときと何がどのように変わって公約にしたのか、現役の市長が再選に向けた公約であるなら、総合的に庁内で検討した中で公約を打ち出したのか、そこまですべて進めてきた経緯をお知らせください。

答(市長) 私の2期目の公約については、市民の皆さまの声や議会からの提案なども参考とし、また、中長期的な視点での財政運営を見据えたものであり、公約として掲げた本施策の拡充に当たり、1月の市長選挙後の限られた時間の中で、制度設計を行うよう担当部局に指示したところであり、本施策の拡充は人口減少問

題への取り組みとして、最重要施策と捉えたものです。

質問3 イーシームズで決定する流れになったのはいつか

総務部長 12月5日に起案し、翌年3月3日の予算の議決日です

問 3月議会と6月議会続けて公共施設5カ所のLED工事に係る質問をしましたが、あまりにもずさんな感じで曖昧な答弁内容には、多くの市民から驚きと嘆きの声を頂戴しました。

改めてお尋ねします。
6月議会の答弁資料の内容が3月議会での答弁と異なることなどについて副市長は調査すると答弁し、その後、住民監査請求も提出され棄却されましたが、市側からは9月5日現在、具体的な調査結果が示されていません。

6月議会で私が独自調査した工事費や器具費と市がイーシームズ株式会社へ確認した金額の違いや、この間どのような調査をしているのか、今現在の調査に関する詳細をお知らせください。

答(市長) 第2回定例市議会で高村議員が調査された金額と、市が契約事業者へ確認した金額の違いや、今現在の調査に関する詳細については、本市の関与は契約上無いもので、本市は、契約事業者とは賃貸借契約のみの関係ですが、第2回定例市議

会終了後の6月20日に契約事業者へのヒアリングを実施し、質問にある金額の違いについて、確認を行っており、市内電気工事事業者と契約事業者との枠組み上での差額であるとの説明を受けています。さらに、220万円については、現場調査費及び管理費と伺っており、市内電気工事事業者がLED照明器具を設置するに当たって、同社が保有する人工が不足したことから、その不足人工を契約事業者のパートナー企業に求めたことから発生したものと報告を受けています。

問 イーシームズで決定する流れになったのはいつか。

答(総務部長) 12月5日に起案しその時点で前段協議をし、おおむね決まったがいつかというところ3月3日の予算の議決を採ったときです。



市内の小・中学校保健室に設置しているエアコン

